

# 英語ペラペラ 脳は省エネ

まの考えなくても瞬時に英語が浮かび、脳が使うエネルギーが節約されるようになるためと見られる。

低い学生ほど、ブローカ野が活発に働き、英語を使いこなす学生ほど、ブローカ野の働きが低調であったことがわかった。

英語の文法知識を十分に習得すると、日本語と同様、あまり考えなくても瞬時に英語が浮かび、脳が使うエネルギーが節約されるようになるためと見られる。

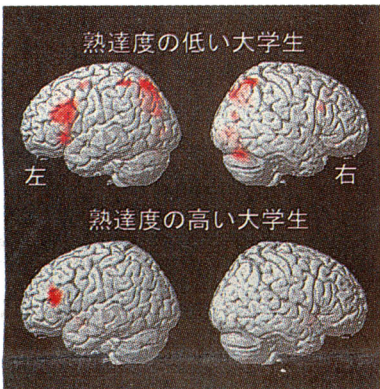
酒井邦嘉・東大助教(言語脳科学)は「脳の状態を測定することで、言語障害の具合を判定したり、語学教育の習熟度を評価したりできるかもしれない」と話している。

## 東大チームが発表

英語を体得すると、脳をあまり働かせなくても英語が自然に出てくるようになることを東京大学の研究チームが突き止め、北米脳神経科学会誌に発表した。

研究チームは、言語の文法をつかさどる左脳の一部「ブローカ野」に着目。大学生計十五人を対象に、不規則動詞の過去形を問う英語のテストを課し、脳の様子を磁気共鳴画像(MRI)装置で観察した。

この結果、英語の習熟度が



赤い所が脳の活動部。英語に習熟していない学生(左上)の左脳は活発に働いている